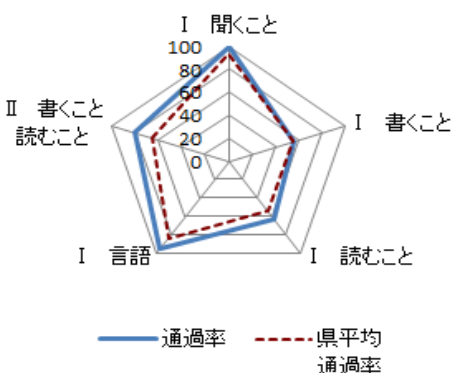
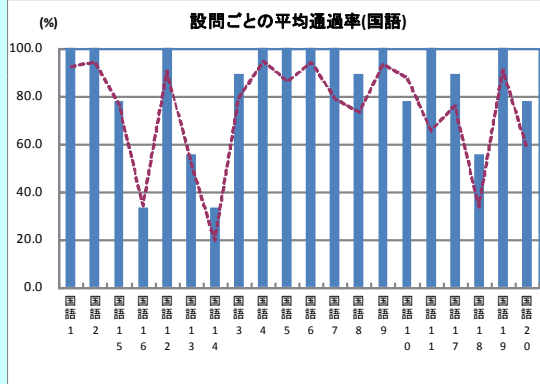


「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 83.9%, 県 73.6%)

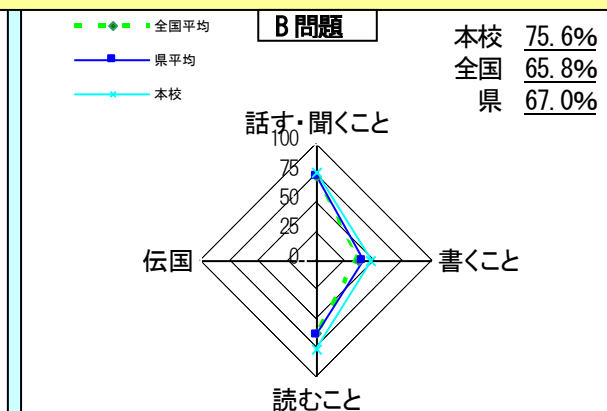
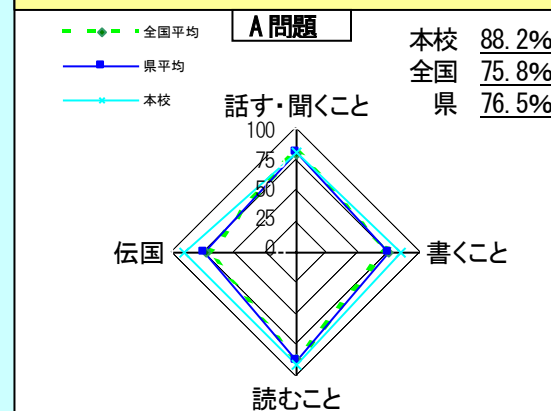
領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率



全国学力・学習状況調査 本年度正答率



重点課題 ◎「基礎・基本」定着状況調査 ◇全国学力・学習状況調査

- ◎ 「書くこと」「読むこと」の領域において、「目的に応じて文章中の情報を読み取り、根拠を明確にした記述」をすることができない。
(五2 通過率55.6% 県33.8%)
- ◇ 「書くこと」「読むこと」の領域において、「複数の資料から適切な情報を得て、自分の考えを具体的に書くこと」ができない。
(B2三 通過率30.0% 全国23.0%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

- ◎ 複数の書籍や資料を関連付けて読むとともに、ペア・グループ活動を授業展開に位置づけ、自分の考えを表現する必然性のある活動を設定する。資料に書かれている内容を正確に理解したうえで、どの部分を取り上げれば自分の意見の根拠としてふさわしいか考えさせる。
- ◇ 複数の書籍や資料を関連付けて読むとともに、ペア・グループ活動を授業展開に位置づけ、自分の考えを表現する必然性のある活動を設定する。根拠、自分の考え、理由を区別した表現をさせる。また、書いた後で根拠、考え、理由に整合性があるか、見直しをさせる。
- ※ 「文章を構成する力」に重点をおいて昨年度作成した小中一貫カリキュラムを実践・検証する。段落相互の関係に留意しながら、根拠となる事実を明確にして自分の考えを書くことができるよう指導する。

◎「基礎・基本」	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		2年生 中間 (類似)		2年生 H27 「基礎・基本」			1年生 H27 「基礎・基本」
目標値		60%		70%			60%
実施後数値		56%		67%			33%

◇全国学力	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		3年生 中間 (類似)		3年生 H27 「全国学力」			2年生 H27 「全国学力」
目標値		50%		60%			50%
実施後数値		20%		60%			40%

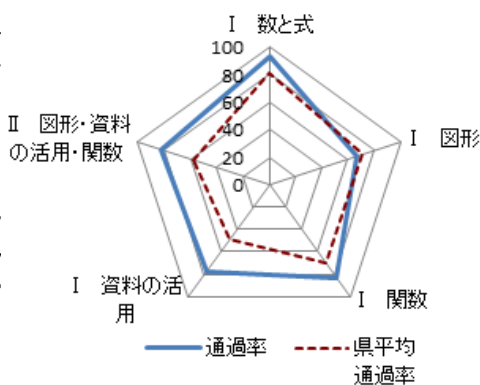
来年度に向けて

複数の本や資料から適切な情報を取り出して関係付け、自分と結び付けて考えさせる必然性のある言語活動を、より多くより工夫して設定していく。

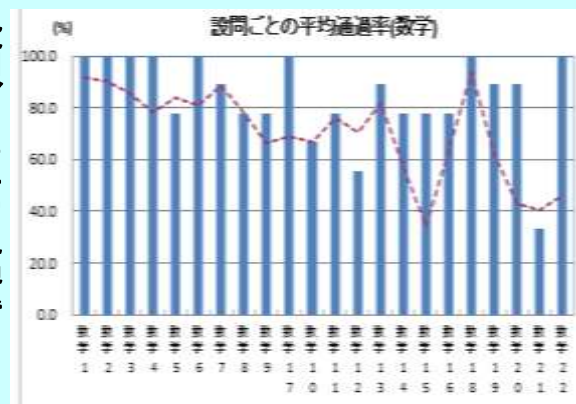
指導方法等の改善計画について [数学]

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 84.3%, 県 70.4%)

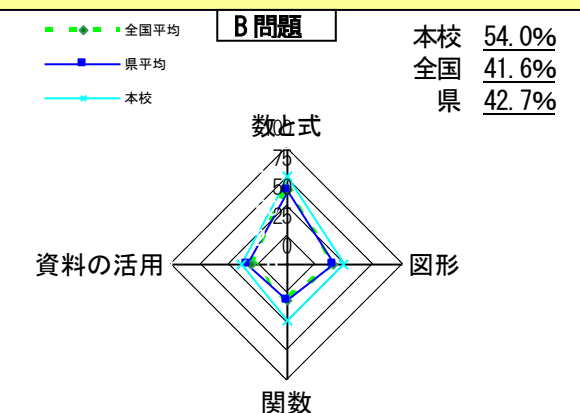
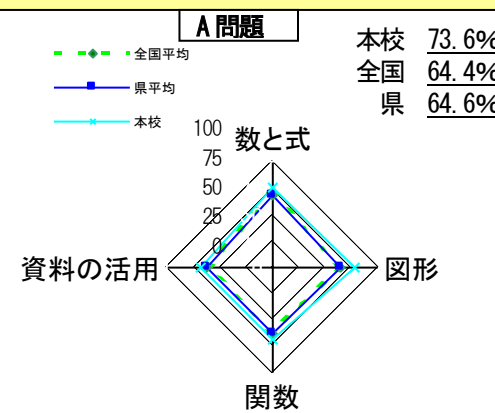
領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率



全国学力・学習状況調査 本年度正答率



重点課題 ◎「基礎・基本」定着状況調査 ◇全国学力・学習状況調査

- ◎ 関数領域において、「 y が x に比例していることを、グラフの特徴から説明できる。」の本校生徒の通過率が44.4%である。「グラフが直線である」や「一定の割合で増えている」は理解できているが、原点を通ることが記述されていない課題がある。(111 県 40.3%)
- ◇ 関数領域において、「比例 $y = 2x$ のグラフ上の点Aの x 座標が3のときの y 座標を求める。」の本校生徒の通過率が40.0%である。与えられた比例の式について、そのグラフ上の点の x 座標を基に y 座標を求めることに課題がある。(102 県63.3%, 全国64.9%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

- ◎ 始めに正しい説明の仕方を指導する中で、大切なポイント、言葉に気をつけさせる。また、関係式・対応表・グラフから比例や反比例などの説明を書かせたり、ペアで説明し合ったりする活動をさせる。
- ◇ 与えられた比例の式に、 x 座標の値を代入させて y の値を求めさせ、その座標(x, y)がグラフ上の点かどうか実際にグラフを書かせて確かめさせる指導をしていく。
- ※ 数学的表現を用いながら筋道立てて説明すること、根拠を示して説明することを小中一貫して指導する。

◎「基礎・基本」	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		2年生中間試験	1年生期末試験			2年生学年末試験	1年生 H27「基礎・基本」
目標値		75%	65%			88%	80%
実施後数値		89%	83%			80%	83%

◇全国学力	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		2年生・3年生中間試験	1年期末試験		3年卒業試験	2年学年末試験	2年 H27「全国学力学習」
目標値		66%・70%	60%		90%	88%	80%
実施後数値		78%・70%	67%		100%	70%	50%

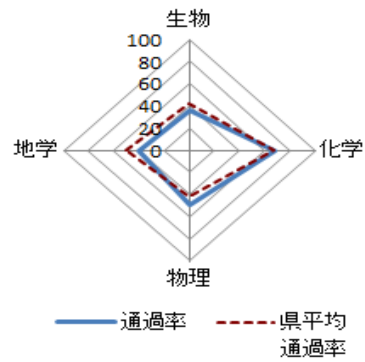
来年度に向けて

理解できたとしても、しばらく取り組まないと忘れてしまうことが考えられる。定期的に振り返る機会をとる必要がある。また、印象深くするために、作業や説明をさせることが徹底できなかった。

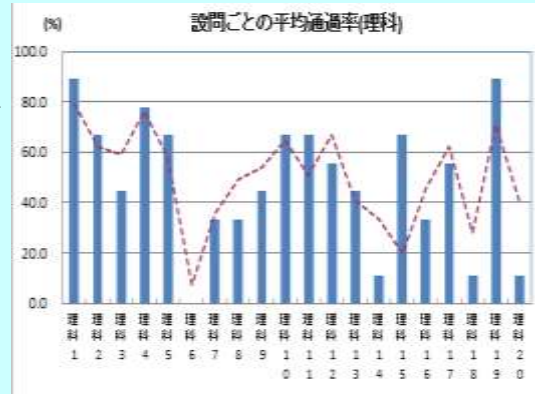
指導方法等の改善計画について〔理科〕

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校48.3%, 県50.2%)

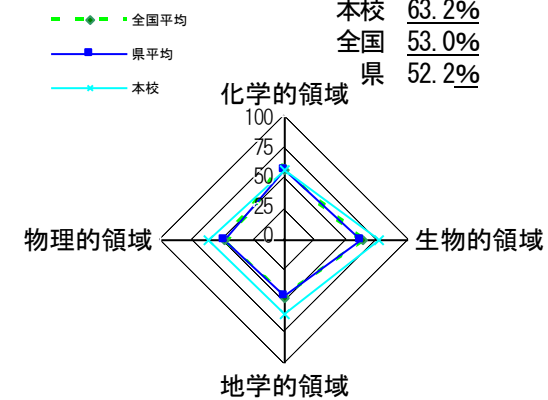
領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率



全国学力・学習状況調査 本年度正答率



重点課題 ◎「基礎・基本」定着状況調査 ◇全国学力・学習状況調査

- ◎ 生物領域における「裸子植物と被子植物の花の違い」について、知識が不確実なために、完全解答できた生徒が一人もいなかった。 3 (2) (県7.4%)
- ◇ 地学領域における「湿った空気が斜面に沿って上昇してできる雲について、その成因を説明した他者の考えを検討して、誤っているところを改善する」設問の正答率が10%であった。 (2)3 全国 14.5%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

- ◎ 内容的には分かっているものの、理科用語を完全に理解していないための誤答がほとんどであった。問題解決学習におけるグループ活動を充実させ、理科用語の習得を徹底するとともに、ドリル等を定期的に行って、知識の定着を図る。
 - ◇ 正しい知識が身につけていないために、間違っているところを適切に指摘できなかったと考えられる。問題解決学習におけるグループ活動を充実させ、自然の仕組みについて、理科用語を用いて正しく説明できるように、理科用語の習得を徹底するとともに、ドリル等を定期的に行って、知識の定着を図る。
- ※ 科学的な言葉について習熟させる。実験・観察でわかったことをまとめる際や日常生活における自然現象を説明する際、それらの言葉を用いながら自分の言葉で表現するよう、小中一貫して指導する。

◎「基礎・基本」	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		2年生 中間 (類似)		2年生 期末 (類似)			1年生 H27 「基礎・基本」
目標値		60%		80%			70%
実施後数値		66%		55%			67%

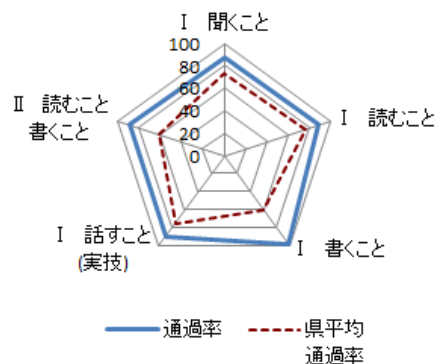
◇全国学力	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		3年生 中間 (類似)		3年生 期末 (類似)			2年生 H27 「全国学力」
目標値		50%		70%			70%
実施後数値		60%		80%			60%

来年度に向けて

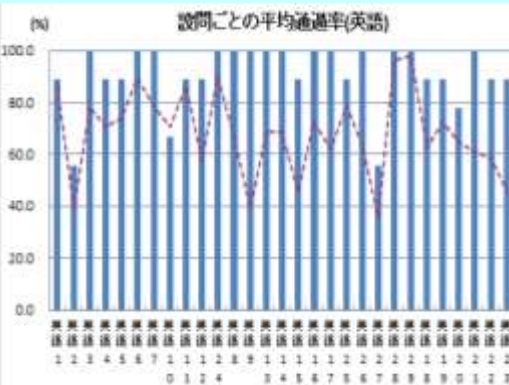
自然の事象について、特徴などをつかみ、比較して考察する場面を授業や試験問題などにも反映し、ものの見方・考え方に慣れさせる。

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 90.8%, 県 68.2%)

領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率



重点課題 ◎「基礎・基本」定着状況調査

- ◎①「聞くこと」の領域において、「Can I-?の問いかけに対して適切に応じることができる。」の生徒の通過率が55.6%である。全ての生徒の誤答が Yes, I can.である。 (12県 39.2%)
- ◎②「読むこと」の領域において、「疑問詞 (When)の文構造を用いて、会話文を組み立てる知識を身につけている。」の生徒の通過率が66.7%である。会話の中で質問文を考える時に答えに注目することに課題がある。 (61県 70.3%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

- ◎①最初の単語だけで判断するのではなく、文構造としての定着を図らせる指導をしていく。また、日常会話でよく使う表現に関しては、授業中に生徒同士で使わせる場面を設定していく。
 - ◎②生徒が答えを手がかりに疑問文を作るような練習をペア学習やグループ学習で行う。また、何度も繰り返し口頭練習や代用練習を行い、文のきまりを身につける指導をしていく。
- ※小中一貫した取組については、「話す・聞く」の能力を高めるために、フレーズで覚えさせる指導をしていく。

◎「基礎・基本」①	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	2年生復習試験				2年生復習試験(類似)	2年生学年末試験	1年生 H27「基礎・基本」
目標値	60%				70%	80%	60%
実施後数値	66.7%				70%	100%	30%

◎「基礎・基本」②	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	2年生復習試験				2年生復習試験(類似)	2年生学年末試験	1年生 H27「基礎・基本」
目標値	70%				80%	90%	60%
実施後数値	77.8%				90%	100%	83%

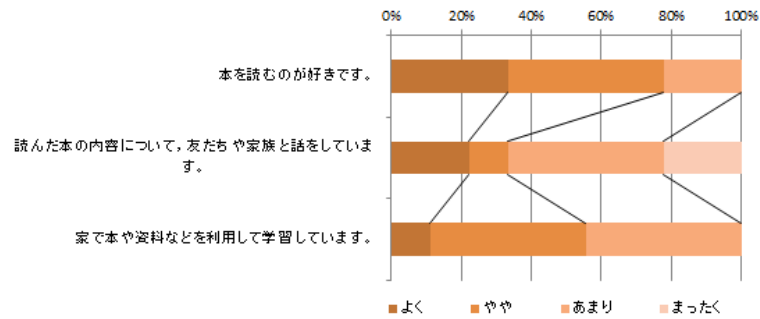
来年度に向けて

繰り返し練習するだけでなく、語句が変更しても、対応できる力をつけていく必要がある。昨年と違い、読解力をつけるための時間を長く取る必要がある。

2 質問紙調査（「基礎・基本」定着状況調査：生徒質問紙調査）（全国学力・学習状況調査：生徒質問紙調査）

(1) 生活・学習

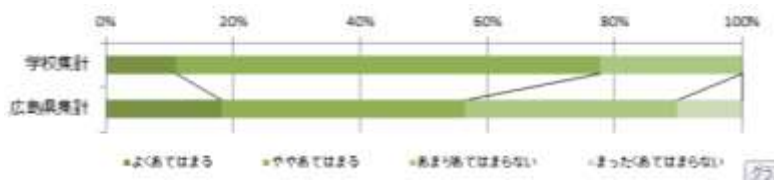
読書活動



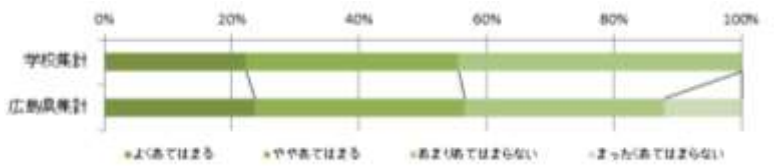
	生徒の回答についての課題 (現状値)	今後の具体的な取組の内容	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状からの概
基礎・基本	「読んだ本の内容について、友だちや家族と話をしています。」(33.3%)	広報委員会が中心となり、自分たちが読んだ本について語り合う「語ろうデー」を週に1回全校生徒で取り組む。	2	50%	生徒アンケート調査	3月	40%	6.7%
全国	家で学校の授業の予習をしています。(10.0%)	復習がきちんとできた上で、新たな興味・関心を高めるためにも、予習の必要性を生徒に語りかけていく。	3	50%	生徒アンケート調査	12月	40%	30%

(2) 教科

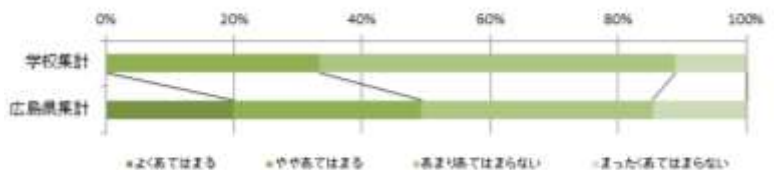
国語の授業では伝えたいことを中心をはっきりさせ、組み立てを考えて文章を書いています。



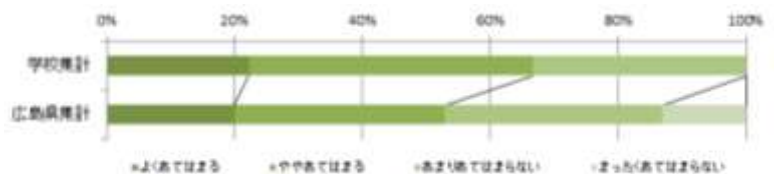
式が何を表しているのかを考えたり、式にあてはまる問題を作ったりしています。



理科の授業では、自分の考えをまわりの人に説明したり発表したりしています。



英語の授業では、聞いたり読んだりしたことについてメモを取ったり、感想や意見などを話したり書いたりしています。



		生徒の回答についての課題 (現状値)	授業改善の方向性や具体的な取組	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状からの概
国語	基礎・基本	「国語の授業では伝えたいことを中心をはっきりさせ、組み立てを考えて文章を書いています。」(88.9%)	伝えたいことを中心、根拠等を付箋紙に書き出し、順序を考え、構成する力をつける。	2	100%	生徒アンケート調査	3月	80%	-8.9%
	全国	「400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思いますか。」(60.0%)	書き方の基本形を教え、授業の中で短い文章を書く機会を適宜設け、書くことへの抵抗感をなくしていく。	3	50%	生徒アンケート調査	2月	80%	-20%
数学	基礎・基本	「式が何を表しているのかを考えたり、式にあてはまる問題を作ったりしています。」(55.6%)	作成した式の説明をさせたり、他の説明を考えさせたり、問題作成をグループ活動で行うようにする。	2	75%	生徒アンケート調査	3月	40%	-15.6%
	全国	「数学の問題を解くときにもっと簡単に解く方法がないか考えます。」(70.0%)	他の人の解き方を紹介したり、ヒントを与えたりして他の解き方を発見できるようにする。	3	80%	生徒アンケート調査	2月	100%	30%
理科	基礎・基本	理科の授業では、自分の考えをまわりの人に説明したり発表したりしています。(33.3%)	ワークシートを活用して、自分の考えと他人の考えを交流する場面を多く仕組んでいく。	2	60%	生徒アンケート調査	3月	60%	26.7%
	全国	理科の授業では、自分の考えをまわりの人に説明したり発表したりしています。(50.0%)	まとめの時間にたとえば班で討議をしたりする時間を多く取るようにする。	3	70%	生徒アンケート調査	2月	70%	20%
英語	基礎・基本	「英語の授業では、聞いたり読んだりしたことについてメモを取ったり、感想や意見などを話したり書いたりしています。」(66.6%)	聞いたり読んだりする活動の後に、自分の感想や意見などを話したり書いたりする場面を設けるようにする。	2	80%	生徒アンケート調査	3月	60%	-6.6%